

市民の想いと得意を地域の力に  
社会人ボランティアの力を  
習志野の地域活動団体につなぐ

## 「ならしのプロボノ2025」 活動報告

「活動報告会&市民活動交流会」を実施

2026年2月11日(水・祝) 10:00~12:00

プラッツ習志野 北館 集会室1,2 及び Zoom配信

令和7年度習志野市市民協働型委託事業（協働政策課）

事務局：認定NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

# 1

## 「ならしのプロボノ2025」 事業概要

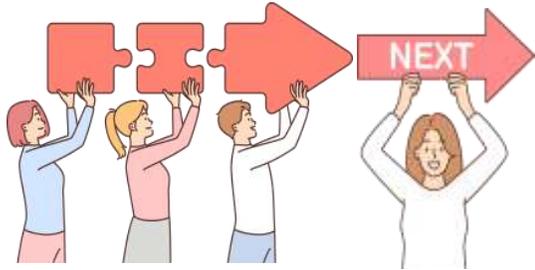
「活動報告会&市民活動交流会」の様子と各プロボノチームや全体の報告資料は、下記ページよりご覧いただけます。

■ 習志野市ホームページ

令和7年度「ならしのプロボノ2025」活動報告会

<https://www.city.narashino.lg.jp/soshiki/kyodoseisaku/25152.html>

# 「ならしのプロボノ2025」とは



## 「市民の想いと得意を地域の力に」

仕事や生活で得た経験やスキルを活かすボランティア「**プロボノ**」。習志野市で活動する団体の運営基盤の困りごと解決に、社会人ボランティアの多様なスキルや経験をつなぎ、団体のステップアップをめざす取り組みです。テーマでつながる新しい地域との関わり方を応援します。

「習志野市をもっと楽しく暮らしやすく」に、「市民活動団体の力×市民の想いと得意」で貢献します。

# 三者が1つのチームとなって取り組む プロボノプロジェクト



地域で活動を行う  
NPO・任意団体  
など



チームで目指せ  
課題解決！

プロボノワーカー  
(社会人ボランティア)



団体が1つのステップ  
を上げる際の大変さを  
プロジェクトとして  
の取り組みに！

事務局  
(NPOクラブ)

三者でひとつの船  
を進めるように…

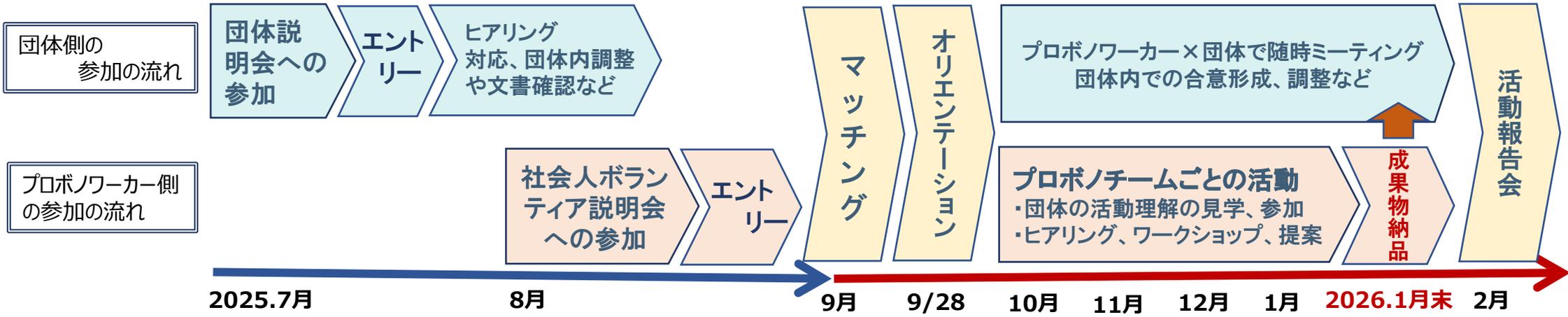
約4カ月の短期集中  
で、一定の課題解決  
に取り組めます

団体の運営基盤強化にチームで取り組む  
プロボノプロジェクトチーム



# 全体のスケジュール

団体へのヒアリングは、  
 昨年のプロボノワーカー  
 の有志の協力を得て、実施



約3~4か月間のプロジェクト期間

オリエンテーションで  
 各チームが初顔合わせ



# 今年度のエントリー団体と支援希望

習志野市内で活動する3団体の運営上の困りごとに、11名のプロボノワーカー(社会人ボランティア)が参加し、「広く知ってもらい仲間をふやす」ための3つのプロジェクトを完了しました

	団体名	活動概要	支援希望	主なWeb情報
1	習志野市 国際交流協会 (NIA)	習志野市がアメリカ合衆国アラバマ州タスカルーサ市と姉妹都市提携したことを契機として、1987年(昭和62年)両市民の親善・友好促進を願って誕生しました。以来、両市間の交流をはじめとする市民の国際交流活動を推進するとともに、習志野市及び近隣市に在住の外国人に様々な形で支援を行ない、市民の国際化を推進しています。	ホームページのリニューアルを想定した広報全般の見直しと提案	 <a href="https://www.nia08.com/">https://www.nia08.com/</a>
2	きらっといっぽの会	障がいや発達に配慮が必要な子どもの親で構成されています。当事者の特性を広く知ってもらい地域であたたかく見守る環境づくりを行うためチラシ、ポスターを制作し、習志野市内に掲示するなどの啓発活動を行っています。それと同時に、当事者の保護者への寄り添い活動として「おはなしサロン」を毎月開催しています。団体の理念は『障がいのある人もない人も一緒に！』です。 ■ホームページは <a href="https://kiratto-2017.jimdofree.com/">https://kiratto-2017.jimdofree.com/</a>	活動を周知していくための既存ホームページのリニューアルと既存公式LINEの活用方法への提案	 <a href="https://www.instagram.com/kirattoippo/">https://www.instagram.com/kirattoippo/</a>
3	マスママカレッジ	マスママの「マス」は数学のmathが由来で、障がいをもつ子どもがいるママ達で立ち上げた団体です。数のわからない子どもでも算数・数学の楽しさを味わいながら親子で学んだり、同じ悩みをもつ親同士で子どもの課題を一緒に考えたり、じっくり、ゆっくり学ぶ活動をしています。数の概念を生活体験のなかで学ぶ手法を通じて、障がいをもつ子を育てる中で大変重要な意味をもつ認識論の学びにもつながっています。毎月1度定期的に行っている「さんすう勉強会」のほか、福祉施設での学習ボランティア「出前さんすう広場」を2年前より始め、マンツーマンでのさんすう遊びの楽しさを伝える活動も行っています。	学ぶ様子を含めた活動紹介動画の作成支援と動画を広報に活用する方法の検討	 <a href="https://www.instagram.com/mathmama2007/">https://www.instagram.com/mathmama2007/</a>

# 約4ヶ月のプロジェクト活動

2025.  
9/28(日)



オリエンテーション、  
チーム結成

10月初旬～中旬



キックオフミーティング  
活動見学・体験

10月中旬～10月下  
旬



中間提案  
⇒ディスカッション

10月下旬～11月初  
旬



最終提案⇒合意形成  
⇒成果物作成へ

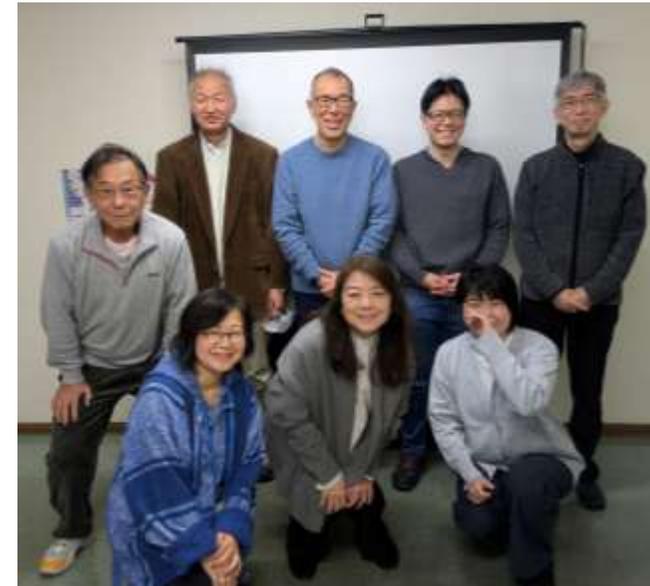
2026.1月末までに完了  
2/11(水・祝)報告会参加



成果物の完了  
活動報告会への参加

3カ月間前後で作成

NIAチームでは、小学校でのイベント見学、  
日本語教室の活動見学もしました♪



アンケート活動を行っているお祭り会場にも足を運びました

## 約4ヶ月のプロジェクト活動



プロボノワーカーは学習者  
として学びの手法を実際に  
体験しました

## 約4ヶ月のプロジェクト活動



# 2

## 今年度のプロジェクト 振り返り

約4ヵ月間のプロジェクトに、プロボノワーカー11名と3団体のメンバー13名+αが参加し、広報の課題への取り組みを完了しました。

3チームそれぞれの活動内容は、各チームの報告資料をご覧ください。この頁では「3. プロジェクト完了後のアンケート集計結果詳細」を基に、プロジェクト全体についてまとめています。

## 今年度アンケート回答からの全体所感

- 団体、プロボノワーカー共にプロジェクト参加に満足参加して「とてもよかった」「よかった」のアンケート回答が、団体、プロボノワーカー共に、あわせて100%だった。両者共に一定の満足度を得られたことがうかがえる
- 団体メンバーにとっては、気づきと再確認の機会にもプロボノワーカーの熱意やスキル提供への感謝とあわせて、第三者からの視点で外部からの見え方への気づきを得て、自団体の強みや課題、活動の方向性を再確認できる場ともなった
- プロボノワーカーにとっては、日常と異なる環境下での出会いが魅力支援先団体や他のプロボノワーカーとの出会いで、日常とは異なる環境での刺激や学び、地域の課題への気づきなどを得て、役立つ喜びや楽しさを感じて元気をもらえる活動となった
- プロボノワーカーはプロボノ参加による自分自身への好影響を実感自分自身の生活や仕事への好影響を「そう思う」と積極的に回答する割合が、昨年度の回答結果と比べ全項目にわたって顕著に高くなっており、活動の継続性に期待がもてる結果に

## 今年度プロボノの新しい傾向

### ・ 多数の団体メンバーの関わり

仲間をふやすための広報課題に多数のメンバーが関わることで、団体の活動意義や運営への意識共有など団体全体の動きにつながる確認の機会ともなった

### ・ 生成AIを活用した支援の形

議事録作成、提案や文案の試作、チラシや動画の試作など、全チームが活用。もう一人のチームメンバーのように活用していたチームも。今後の支援の形が変わっていくひとつの転換点となる年だったのでは

## より円滑にプロジェクトを進めるために

### <改善が望まれる点>

- ・時間のやりくり
- ・プロジェクトの進め方
- ・初期の要件定義
- ・コミュニケーション
- ・支援期間をもっと長くの声

### <今後、検討したいこと>

- ・AIの活用スキルの分かち合い（時間のやりくりに貢献）
- ・取り組み課題の設定にプロボノワーカー経験者の関わり  
（早い時期からの関わりでコミュニケーション改善、スコーピングに参加）
- ・PJの進め方の具体例や困りごとへの対処法を蓄積、共有
- ・経験者の経験を分かち合う場づくり
- ・「期間延長」や「PJ後もゆるやかなチーム支援」でフォロー

# 3

## プロジェクト完了後の アンケート集計結果詳細

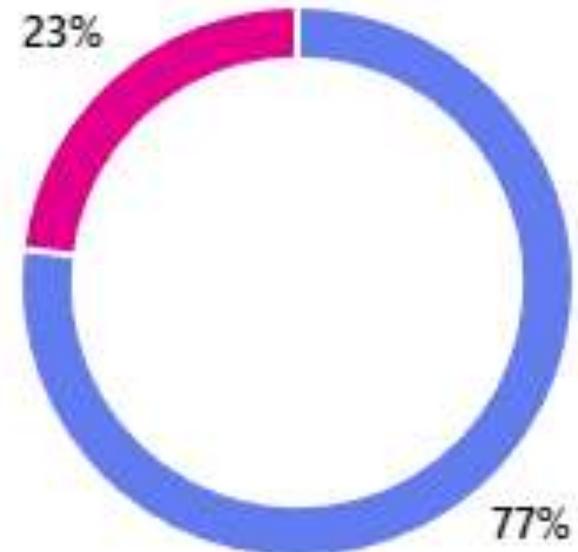
プロジェクト完了時の2026.1/27~2/9にフォームで回答収集した集計結果です。  
参加した団体メンバー(3団体13名)、プロボノワーカー(11名)が、個人で回答したものです。プロジェクト参加の意義と事業成果、運営改善のためのアイデアを問う内容となっています。

# 団体にとってプロボノは どうだった？ープロボノ参加団体の声

回答者 3団体13名

【事業全体について】「ならしのプロボノ2025」に参加されて、全体としてどのように感じましたか？

● 参加してとても良かった	10
● 参加して良かった	3
● どちらともいえない	0
● 参加したが良くなかった	0



## 【事業全体について】 前問のように感じられたのは、どのような理由からですか。

<>は得たと思われるもの

- ・今まで気づけなかった会の問題や課題に気づくことが出来たから。(4名)
- ・プロボノの方達とお話する中で、改めて自分達の活動の強み・良さを再確認できました。普段障害者家族と意見交換することが多いので、一般の方からの視点が新鮮でとても参考になりました。

<第三者性>

- ・専門的な意見、提案がよかった
- ・団体の力だけでは解決が難しい事案についてアドバイスをいただくことができました。
- ・自分達では気付かなかった課題をワーカーさんから助言いただき成果があった
- ・ワーカーの皆さんの熱意とスキルにただただ感謝です。

<スキル、助言>

- ・自分の団体を客観的に見る機会となった。
- ・活動の方向性が改めて再確認できたように思われました。

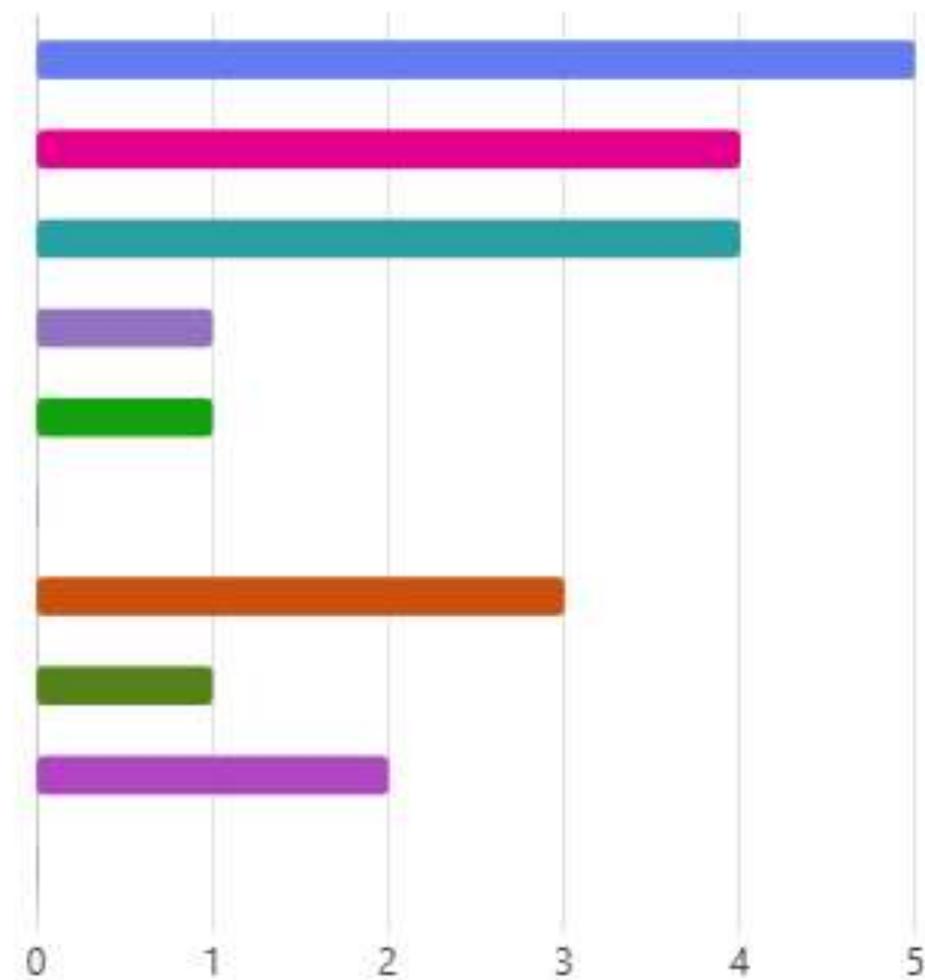
<熱意>

<確認の機会>

- ・団体の事をよく理解して頂き、素敵な動画を作成してもらったから

4. 【事業全体について】プロボノ活動中、難しさを感じられたのはどんなことでしたか？（複数回答可）

● 活動時間のやりくり	5
● 団体の活動や状況の説明	4
● プロジェクトでの作業の進め方	4
● 成果物の具体的な内容設定	1
● プロボノワーカーとのコミュニケーション	1
● 団体メンバー間のコミュニケーション	0
● メンバーの役割分担	3
● 進捗管理	1
● 特に大変だと感じる場所はなかった	2
● その他	0

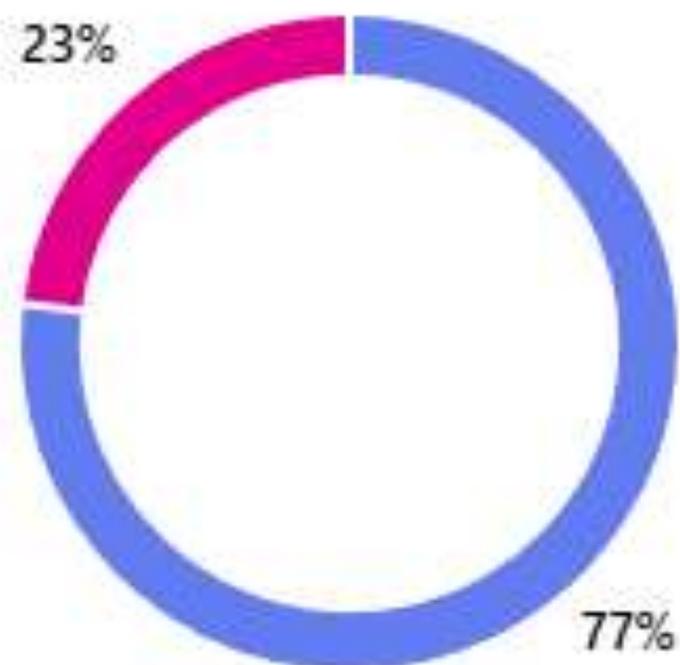


## 【事業全体について】 前問の難しさを改善するための工夫や提案などがあればお願いいたします。

- ・今 事業については感謝しかありません。問題は我々の問題です。提案事項をどれだけ実施できるかが課題です。
- ・ワーカーさんとのコミュニケーションを深めるために期間をもう少し長くしたほうがよいと思いました。
- ・当初はもっと頻繁に双方のやり取りをするものと思っていたところがあったので、ワーカーさん達の意見を聞くことに終始してしまいました。初めからこちらの意見や考えを積極的に出した方がワーカーさん達もやりやすかったのではないかと思います。
- ・もう少し時間があればとつい思ってしまいます
- ・実際の活動を何度か見ていただきました。

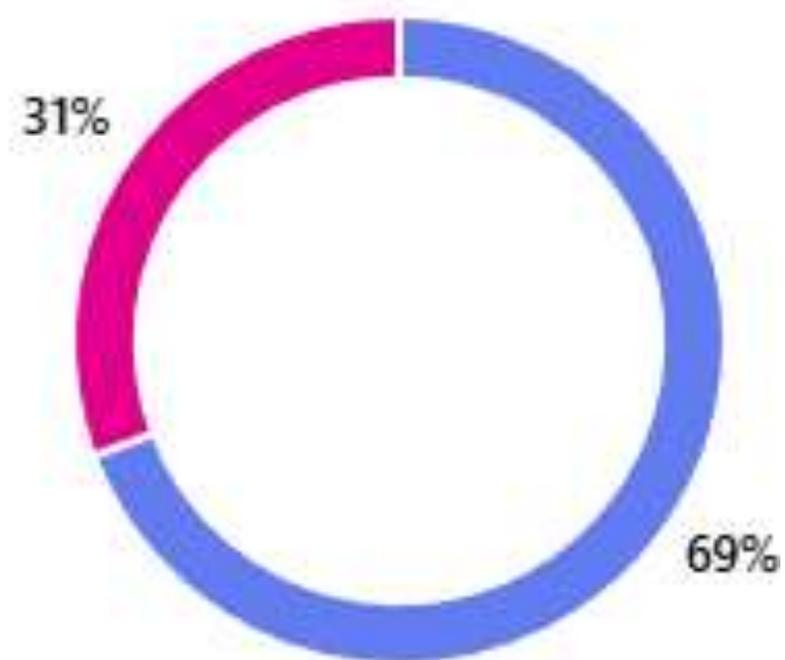
## 【成果物の評価について】成果物についてどのように感じていますか？

● とても満足	10
● 満足	3
● 活用するには検討の余地あり	0
● 今後の活用は難しい	0



【期間設定について】約3カ月~4カ月という支援期間は、どのように感じましたか？

- ちょうどよかった 9
- もっと長いほうがよかった 4
- もっと短いほうがよかった 0
- その他 0

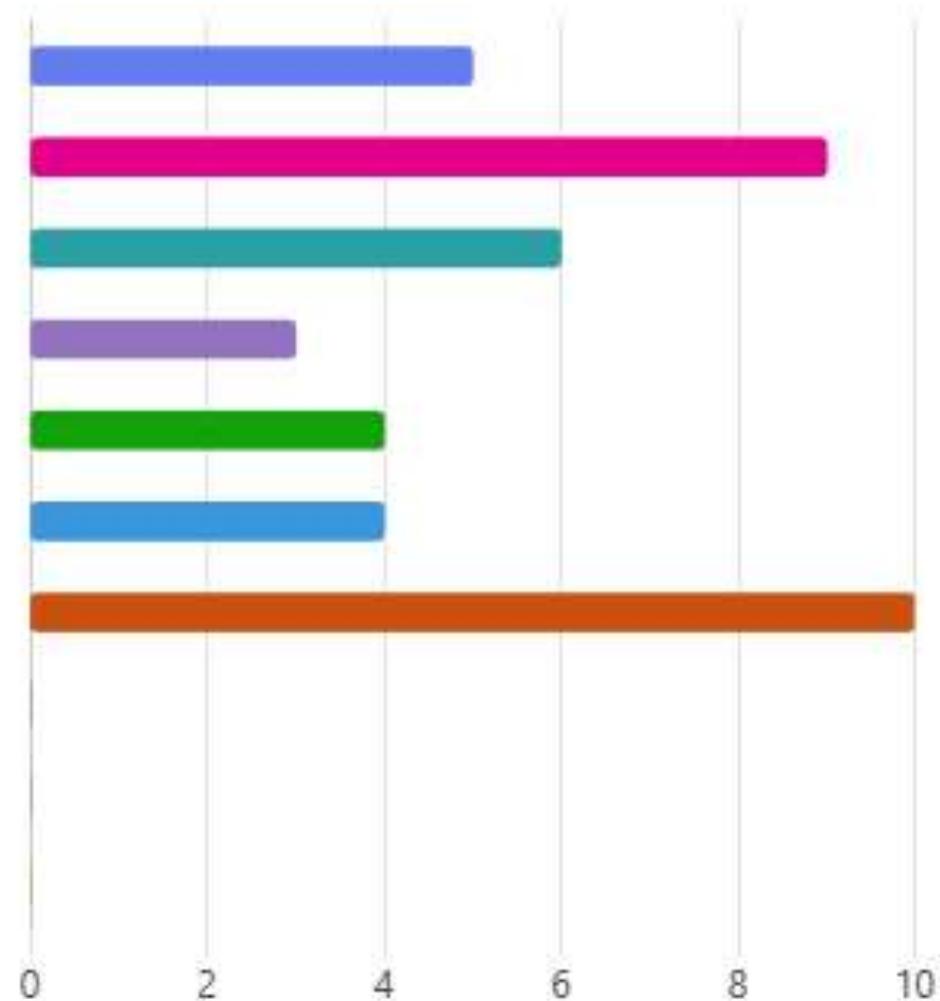


【プロジェクトの進行について】プロボノを進めるにあたって、実際に支援を受ける前に想定していたことと、違っていると感じたことがあれば、ご記載ください。

- もっと簡素な提案だと思っていた、かなり具体的かつ専門的であった
- 提案が、団体に本当に寄り添ったもので助かりました。具体的でありすぐにでも実践したい提案ばかりでした。
- 課題へのアドバイス程度だと思っていましたが、会としての考え方や方向性まで考えることになったことです。
- 支援を受ける前は、目に見える成果物を予想していましたが、協議を重ねる中で「提案」という形でアドバイスをいただくことになりました。でも、今後それを基に団体が動いていくことになるので、それはそれで有難く、良かったと思っています。
- 成果物が想定以上の仕上がりでした！

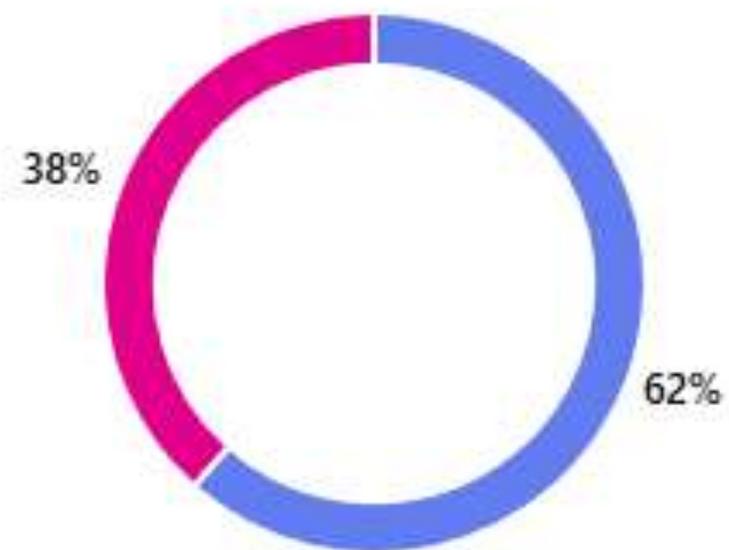
【プロジェクトの影響・効果について】 今回の支援を受けたことにより、団体内部で下記のような変化はありましたか？（複数回答可）

- 団体の理念や活動目的が明確になった 5
- 運営上の課題や活動の方向性が明確になった 9
- 内部関係者(団体メンバー)間で団体運営に関して意識共有ができた 6
- 団体の活動意義について新たな発見があった 3
- 代表者やメンバーのモチベーションが向上した 4
- ボランティア受け入れの必要性や受け入れ体制について認識が変わった 4
- 外部からの見え方や情報発信について新たな気づきや展開があった 10
- 業務が効率化し、ストレスが減った 0
- 特に変化はなかった 0
- その他 0



【今後について、その他】今後、機会があれば、プロボノによる支援をまた受けてみたいと感じますか？

● また受けてみたい	8
● どちらとも言えない	5
● 受けたいとは思わない	0
● その他	0



これまで回答された以外に、コメントやご意見、事務局への要望などがありましたら、ぜひお聞かせください。

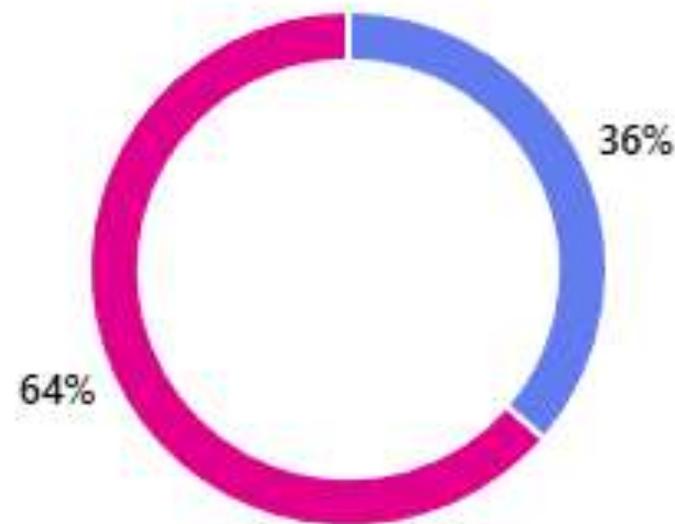
- ・みなさんが長年に渡って身に着けてこられたことを、惜しげもなく教えていただき心より感謝申し上げます。これからの活動に生かし、我々の活動を向上させていくことで、ご恩に報いたいと思います。ありがとうございました。
- ・成果にととても満足していますが、正直大変でした。ただこの機会を逃せば取り組めなかったと感謝しています。
- ・ワーカーの皆さんには、団体のホームページや資料をしっかりと読み込んでいただいたり、事業を見学に来ていただいたりした上で、お忙しい中、本当に真摯に取り組んでくださって、いろいろな調査結果や資料を作成していただきました。心から感謝しています。今後も引き続きご協力いただきたいと思えるような方達ばかりで、引き合わせてくださった事務局にも感謝です！ありがとうございました！
- ・事務局の支えがあってのプロジェクトでした。ありがとうございます。
- ・プロボノワーカーさん達のスキルを活かしたご支援は本当に有り難く、市民活動の活性化にとってもいい制度だと思いました。習志野市以外でもこの活動を拡大する展望はありますか？

# 社会人ボランティアにとってプロボノはどうだった？ ープロボノワーカーの声

回答者 11名  
(3チーム)

【事業全体について】「ならしのプロボノ2025」に参加されて、全体としてどのように感じましたか？

- 参加してとても良かった 4
- 参加して良かった 7
- どちらともいえない 0
- 参加したが良くなかった 0

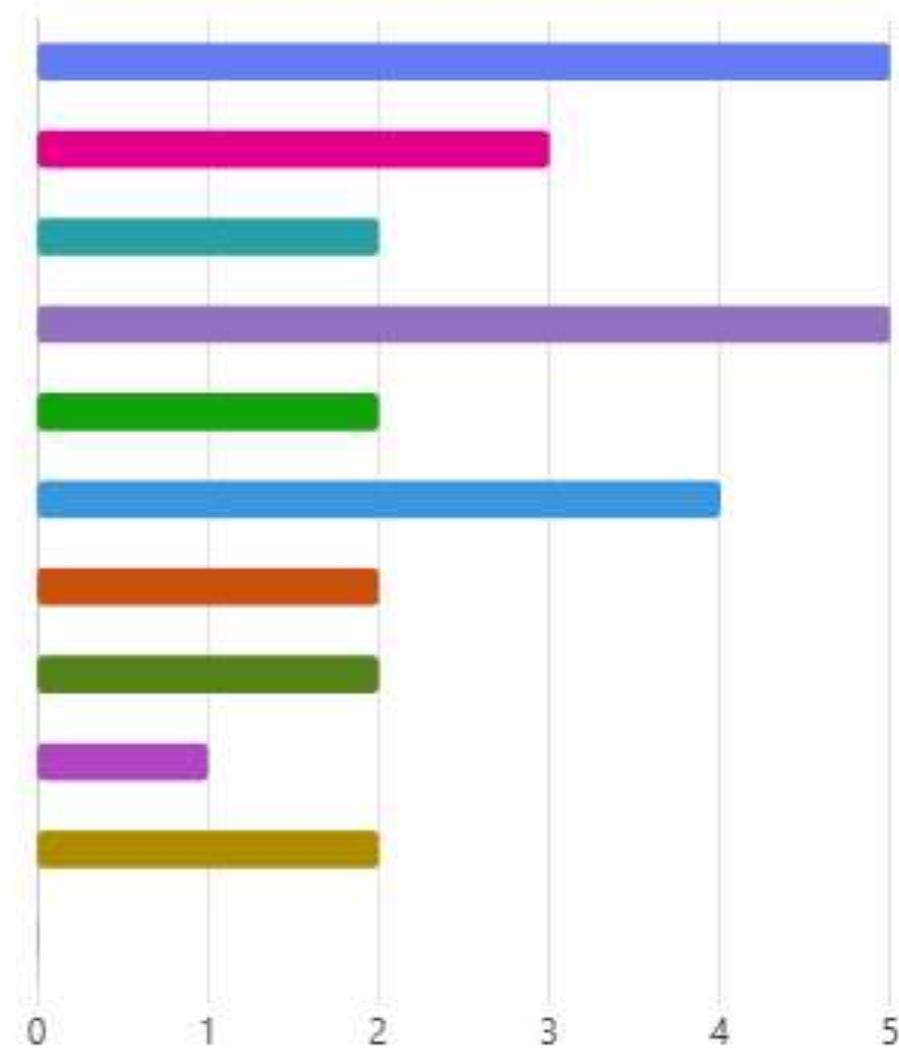


## 前問のように感じられたのは、どのような理由からですか。

- ・ 熱意ある団体（指導者）と交流が出来た ＜団体との出会い＞
- ・ 地域の団体を知ることができた。習志野市に住んでいても、あまり地域性を感じる日々ではなかった。
- ・ 多少なりとも気付きを得ていただけた
- ・ 団体より「（プロジェクトを通じて）団体の目的を再認識できたことや団体の活動を客観的に振り返ることができた」などの感想があり、プロボノ活動が認められたと実感したため
  
- ・ 支援団体に関する新たな発見と新たなワーカーメンバとの出会い ＜ワーカーメンバとの出会い＞
- ・ チームワークもよく活動内容もはっきりしていて取り組みやすかった。
- ・ 役割分担が明確で活動しやすかった。事務局担当者の采配が素晴らしい。
  
- ・ 様々な人から刺激をいただき勉強になることが多かった為。 ＜日常と異なる気づき＞
- ・ 地域の課題について深く考える機会を得られたことはもちろん、会社では当たり前だと思っていた自分のスキルが、外の世界でこれほどまでに役立つという喜びを実感できました。また、立場の異なるメンバーと一つの活動を形にする難しさを経験できたことも、自分にとって大きな糧となりました。
- ・ 普段の業務とは違った形で貢献できる楽しさ（マネジメントではなく自分で手を動かせる）。新しいつながりを得ることができる（プロボノチーム、支援先団体の方）。仕事でも家庭でもない新しい場所を作る事ができる。リアルな困りごとを直接聞くことができ、仕事のアイデアに生かせる。元気を貰える。

プロボノ活動中、難しさを感じたのはどんなことでしたか？（複数回答可）

● 活動時間のやりくり	5
● 団体の状況把握	3
● プロジェクトでの作業の進め方	2
● 成果物の具体的な内容設定	5
● 資料や成果物のまとめ方	2
● 団体とのコミュニケーション	4
● プロボノワーカー間のコミュニケーション	2
● メンバーの役割分担	2
● 進捗管理	1
● 特に大変だと感じる場所はなかった	2
● その他	0

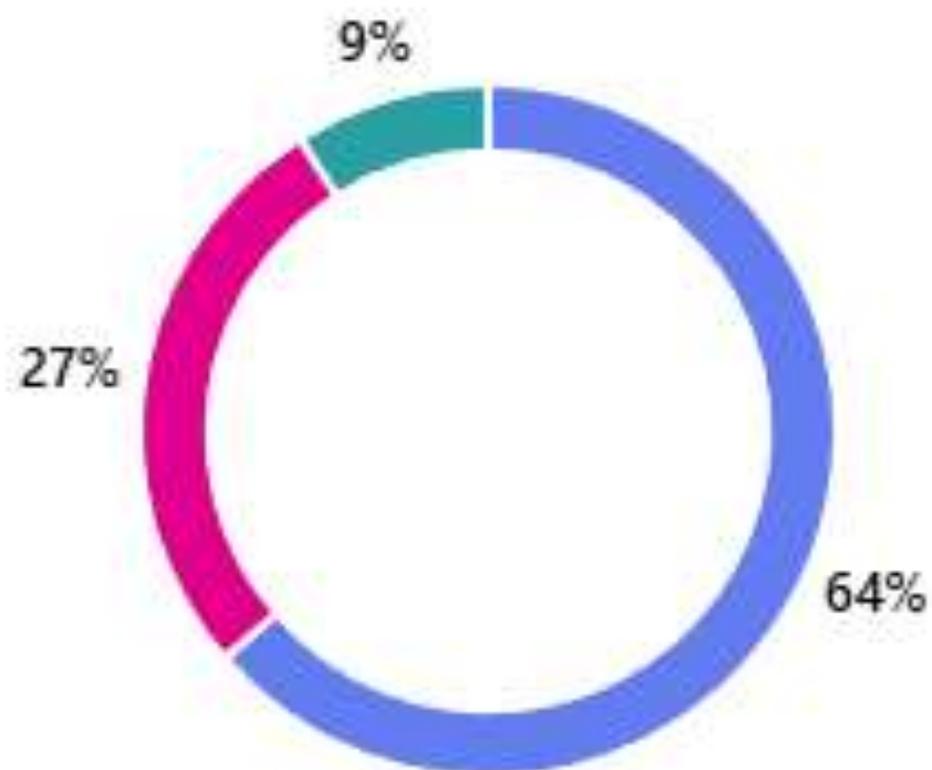


## 前問の難しさを改善するための工夫や提案などがあればお願いいたします。

- すでに活動されている団体に対してペルソナやミッションビジョンを引き出す難しさがあったが各人アンケートで大枠つかめたと思う。
- プロジェクト開始当初の数ヶ月間は、全体像や具体的な進め方がイメージできず、どのように動くべきか模索する状態が続きました。また、仕事との両立の中で、限られた時間内に異なる背景を持つメンバーと役割を分担し、成果物の着地点を見出すプロセスの難しさを実感しました。改善案として**1つ目はナレッジ・過去事例の共有**。「こう進めるとスムーズ」「この段階ではここに気をつけるべき」といった、過去の成功事例や失敗から学べる具体的なナレッジ（進め方のガイド）を初期段階で共有してほしいです。**2つ目として横のつながり・メンター制度の導入**です。経験者や過去の参加者に相談できる「交流の場」や、活動を並走してくれる「サポーター（メンター）」のような存在がいると、未経験者でも迷わずに一步を踏み出せ、非常に心強いと感じます。
- 出来るだけ早い時期に、団体とプロボノワーカーとの信頼関係（変に距離を置かない関係）を築くことが重要
- 募集段階でどのような活動を行うか具体的に明記しておくなどキックオフミーティング前に作業ベースでイメージできるといいと思いました。
- 各自調整して無理のない範囲で貢献するで良いのかなと思います。

【期間設定について】約3カ月～4カ月という支援期間は、どのように感じましたか？

● ちょうどよかった	7
● もっと長いほうがよかった	3
● もっと短いほうがよかった	1
● その他	0



【プロジェクトの影響・効果について】「ならしのプロボノ2025」へのご参加で、ご自身の考え方や生活に変化や影響がありましたか？該当する箇所を選択してください。

● そう思う   ● ややそう思う   ● あまりそう思わない   ● そう思わない

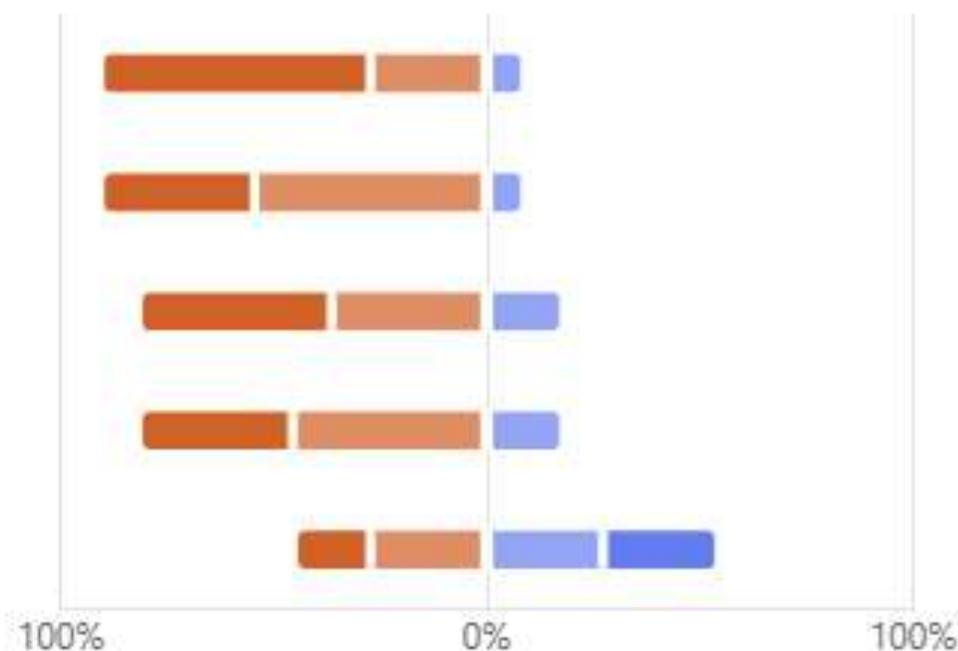
自身の視野が広がったり、人間的成長につながった

社会に対して役に立っているという実感がもてた

社会問題やNPO・地域活動に対する見方や考え方が変わった

ボランティア活動や社会貢献活動に関する興味、関心が高まった

プライベートの時間が減り、支障が出ていると感じた



プロボノへのご参加で、ご自身のお仕事や主となる活動に、  
どのような変化や影響がありましたか？該当する箇所を選択してください。

● そう思う   ● ややそう思う   ● あまりそう思わない   ● そう思わない

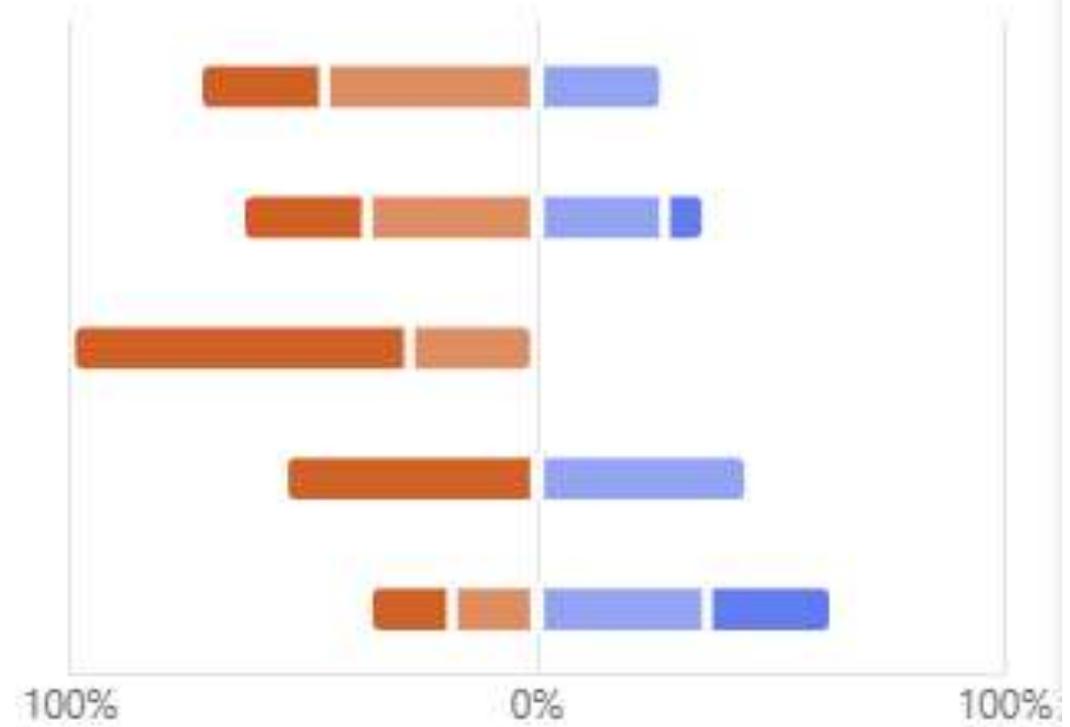
今の仕事や活動に活かせる経験ができた

自分の専門性やスキルを再認識することができた

異業種、異業界の人と交流する意味や楽しさを感じた

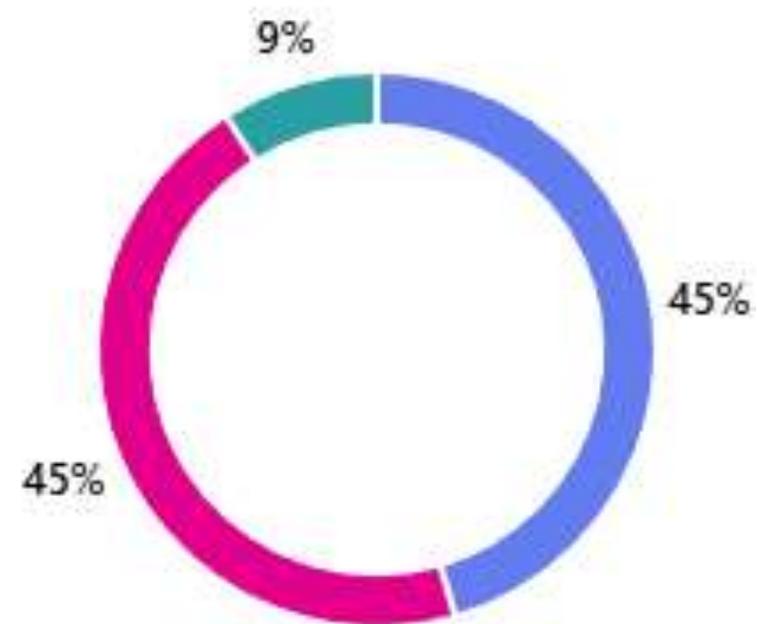
仕事や自身の活動で新しい取り組みにチャレンジしたいと思った

仕事など主となる活動に支障が出た



・ 今後も機会があれば、プロボノワーカーとして活動してみたいと思いますか？

- 活動してみたい 5
- やや活動してみたい 5
- あまり活動したくない 1
- 活動したくない 0



前問に関して、「活動してみたい」または「活動したくない」と感じられた理由をご記入ください

### <活動してみたい>

- “地域で素晴らしい活動をしている団体”との出会いや活動支援が、プロボノ活動の醍醐味と実感できるため
- 社会に貢献できていると感じられる。
- 3で回答したような難しさもありましたが、それ以上に、一連の活動を通じて自分自身の成長を実感できる貴重な経験となりました。今回の学びを糧に、次回はさらに高いレベルで、最大限のサポートができるようになりたいという前向きな気持ちが芽生えているため
- 団体側と（表層ではなく）深く接することが出来るから今回の活動だけでは限定的なため、更に別の団体や課題解決に取り組んでみたいため

### <やや活動してみたい>

- やはり広報の話しは自分には難しいです
- やはり時間がとられるので今後の活動はじっくり検討したい

### <あまり活動したくない>

- プロボノワーカーとして支援できるほどの余裕は自分にはないと感じた為

これまで回答された以外に、コメントやご意見、事務局への要望などがありましたら、ぜひお聞かせください。  
(回答は一部割愛しています)

- ・団体の活動内容や意義を知れたのは大きな収穫でした。
- ・まずは何より、メンバー皆さんに恵まれたというのが本当にありがたかったです。また事務局もしっかりサポートされているのに頭が下がります。自分としては今回、何か団体に変化をもたらすところまでは期間的にいけなかった、またおそらくもっと具体的な課題や提案、ノウハウなどないとこれからが進まない気がしていて、やるべきことの1割くらいしか出来なかったかな、というイメージです。もちろん団体さんが喜んでいただということなので本当に良かったですですが、足りなかったというのが全体の感想です。
- ・今回はすべての団体が広報課題でありましたが、事前ヒアリング等において団体のミッション・ビジョンなどはしっかり整理したうえ、プロジェクトに入った方が良かったのではと感じました。(他団体では行えていたのであれば、申し訳ありません) 支援を進めるにあたり、最初の段階で団体活動を整理することがいかに重要が学ぶことができました。プロジェクト運営においては、限られた期間かつワーカーのスキルが異なる中、いかに伴走支援の精度を高めていくかがプロジェクト品質に影響することにあります。長くなりましたが、2026年もプロボノ活動があれば、反省を踏まえて頑張ります。
- ・このような機会を頂きありがとうございました。プロジェクト終わった後も支援先やプロボノワーカー間で緩いつながり継続できる仕組みがあると良いのかなと思いました。(ちょっとだけきたいことがあるとか、無理のない範囲で軽く相談できるなど、緩やかな伴走を続ける)
- ・今回、お疲れ様でした。この活動を是非続けてください。

## 「ならしのプロボノチャレンジ2024」取り組み団体

前年度の取り組み団体とも、緩やかに情報交換や状況共有をしています。

	団体名	活動概要	支援希望	団体Web情報
1	earth FUNTRY! (アースファントリー！)	「こどもたちと一緒に楽しく環境問題・SDGsを考えよう！」のコンセプトの元、オリジナルの歌やダンス、芝居を子どもたちと制作、披露するほか、環境問題等に関するクイズを活用したワークショップやイベント、講演会などを小学校や地域で行い、環境問題への啓発を実施	企業にアピールできるまでのロードマップ作成のためのワークショップの実施と提案	
2	NPO法人 ならしの子ども劇場	「人間性を育む自主的、創造的、文化的な体験活動を行い、子どもにとっての豊かな地域社会づくりをめざします」というミッション実現のために、良質な生の舞台の鑑賞企画、子どもが自由な発想で自発的に遊べる場づくり、子育ての楽しさや地域で育て合う安心感を感じられる場づくりを行っている	業務効率化のためのデータ管理のクラウド化等の実施と団体メンバーへの活用講習の開催	
3	NPO法人 傾聴グループ ぬくもりほっとらいん	悩み苦しんでいる人、孤独の中にいる人々に対して安心して話せる機会を提供するとともに、学習会など傾聴の学びの輪を広げることにより、あたたかい人間関係づくりの一助となること、これらによって“やさしい地域社会づくり”に貢献することを目的として活動している	「20周年式典」で投影する映像の作成支援（目的にあわせた内容整理の支援や編集方法などの提案を含む）	

## 「ならしのプロボノチャレンジ2024」 取り組み団体

	団体名	活動概要	支援希望	団体Web情報
4	ならしのまち歩き コンシェルジュ	習志野市の歴史、遺跡、風土、生活、人々などを紹介するまち歩きを、ボランティアで企画運営し、習志野市のPRと観光事業に寄与するとともに、地域の活性化と地域愛を育むことにも貢献する活動。まち歩きの運営にあたる「コンシェルジュ」の養成も担っている	若い世代に向けた企画の提案とInstagram等を使った情報発信支援	
5	津田沼北部 連合町会	J R津田沼駅に接する習志野市の「表玄関」に当たる地区で、市の支援を受け、三世代交流輪なげ大会 ふれあい音楽祭 市民まつり 防災訓練などの運営を担い、活発に活動している。社会福祉協議会との連携で、毎月「さくらサロン」と称した事業を展開するなど、地域住民のQOL向上に寄与している	ホームページ作成に向けた活動の担い手掘り起こしと育成支援	
6	習志野市e-sports 協会	認知症予防をはじめとする健康面とコミュニケーションツールとして活用する事により得られる精神面の両面にアプローチできる新たなツールとして、e-sportsを高齢者や世代間の交流に活用した活動を行っている。町会や社会福祉協議会、聴覚障害者協会、認知症カフェ、e-sportsでの世代間交流大会等のイベントを実施することで、地域の活性化にもつなげる。	活動の認知を高めつつ、地域の活性化にもつながるような次年度以降のイベント実施の企画提案書の作成	

事業やこの報告に関するお問い合わせは…

「ならしのプロボノ2025」事務局、企画・運営



認定NPO法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ  
(通称 NPOクラブ)

〒261-0011 千葉市美浜区真砂5丁目21-12

TEL 043-303-1688 (平日9:00~17:00)

Email [chiba@npoclub.com](mailto:chiba@npoclub.com)

ホームページ : <https://www.npoclub.com>

担当：鍋嶋、赤木